

かばら原水禁世界大会 報告会 57人参加 原爆投下の惨状を被爆者の気持ちを 込め話す 被爆の「紙しばい」も上演

2019年の「原水禁世界大会」には蒲原診療所グループより2人が代表で参加しました。その報告集会が8月29日の夕方、かばらデイサービスで行われました。この報告会では最初の体験者であることもトクの中で話されました。代表として最初に友の会役員の久保田憲一さんが話しました。久保田さんは「世界大会の会場は、立ち見の人が出るくらい、大勢の参加者であふれた」こと。「原爆が投下された後の長崎市内の目を覆う惨状」などを詳しく、当時の被爆者の気持ちを込めて話しました。職員を代表して参加した薬剤師の大久保紘子さんは、浦上天堂など自分の足で見て来た被爆跡を、写真を使い紹介しました。二人の代表を長崎に送り出す



原水爆禁止世界大会報告集会 紙しばい

ためめの財政活動の報告もありました。友の会員の皆さんにお願いした募金額が15万円になったこと。平和カレーの炊き出し、バザーの提供品などで蒲原グループの職員から、大きな協力を受けたことなどが報告されました。また、集会の終わりに蒲原診療所の早川看護師長は原爆を扱った紙芝居「ちいちゃい声」の上演で参加。命と平和の大切さを会場に集まったみんな

かばらデイサービスセンター 新人 奈良みゆき 宜しくお願ひします

私は大学では社会学部で高年齢者施設を訪問してその利用者を見てきました。座学だけではなく現場で高年齢者のことを学んできたつもりでした。しかし、昨年就職活動の一環でこのかばらデイサービスセンターを見学させていただいたとき、かばらの利用者を見て今まで高年齢者に気付けなかった自分が一般的に介護という支援助をしてもらうという受け身の介護を想像する人が多いと

思います。実習先でも、利用者職員に決められたスケジュール通りに動かされ、何かをしようとして立ち上がった場面が「座って！」と言われる場面がありました。当時の私はそのような状況が普通だと思っていたのです。



奈良みゆきさん

作ったり、見学に来た私や職員に指示を出したり、今日は調子悪いからと布団を敷いて寝ていたり・・・主体的に行動する人の多さに驚きました。そんな利用者の姿を見て、高齢者の主体性・積極性を奪っているのは、その人を理解していない支援者だったのだな、と痛感させられたのです。私も利用者になる為に、仕事内容はもちろんですが、利用者のできることをやらないことを見て見ぬ振りしない、利用者への行動の背景を考えて引き出せる努力をしていきたいと思ひます。

なでかみしめあいました。また、「止めよう戦争する国、足立東部の会」代表の高橋重雄さんは参議院選挙の結果を踏まえて「改憲を許さない」地域での宣伝活動などの継続を訴えました。「今年例年になく参加者が多く盛り上がった集会になったね」と喜びながら、平和運動への希望を述べて行く人もいました。

報告 事務局 嶺岸宏



男性コーラス「フォルテ」のみなさん

第23回「平和のつどい」 N綾瀬

お盆に毎年「すいとん」食べ平和を誓う 「ジェンダー平等」自由と尊厳、多様性尊重

5.2人参加



オリーブ班第23回平和のつどい

第23回「平和のつどい in アヤセ」が8月18日(日)に加平住区センターで開催されました。参加者は52人で会場は満員になりました。実行委員会の各団体あいさつで健康友の会は渡辺支部長が話しました。そのあと女性のコーラスを聞きながら、恒例のすいとんとおにぎりの昼食です。「毎年こ

れが楽しみで来ているの」「私は初参加なの」と和気あいいいおしゃべりタイム。今回は参議院議員の田村智子さんのお話しを聞きまし

ふれあい川柳で5回連続「秀」受賞 辰沼(あじさい班)の藤村節子さん

かばらふれあい川柳で昨年12月から今年8月まで連続して「秀」に輝いた友の会員がおります。辰沼に居住する藤村節子さんは、藤村さん



藤村節子さん

ことが励みになりました。蒲原との付き合いは「かばらふれあい川柳44回目」からで、それ以来60回も投句を続けています。「川柳を柳とてもうれしい」と笑顔で応えが返ってきました。この8月の秀句は「日除け役ゴーヤ実ってお裾分け」でした。隣近所を気遣うやさしさに満ちあふれた作品で

自民党議員のLGBTは生産性がない発言は、個人の尊厳を冒すものです。「夫婦別姓」「同性婚」「おっさんずラブ」が映画になりました。いろいろな人間がいて違った生き方や考え方があります。今、個人の自由と尊厳、多様性を受け入れる社会をめざして一歩動きだしたところでしょう。か。それには平和と民主主義が大切です。最後は全員合唱です又会いましょう。

報告 仙石 美智子

健康づくりを楽しむまちづくり いのちと個人の尊厳を大切に

東京民医連共同組織活動交流集会在開かれ、かばら支部から5人が参加してきました。9月7日の中野の明治大学のホールへ470人が参加。2019年度共同組織拡大強化月間の方針が発表されました。スローガンは、平和と憲法を守り、いのちと個人の尊厳を大切にす

る、共同の環を広げようです。記念講演は、順天堂大学の島内憲夫氏による、「健康づくりを楽しむHPI推進のまちづくり」で健康的なまちを組織的につくり、幸福を求めようと提案されました。



事務局 田中 英人